

30周年 を込めてー

いっしょに暮らしと文化を楽しむサロン

われました。

「すくすくギフト」は、お椀、ボウル、お皿、カップ、スプーン、トレーの6点セット。オケクラフトの良さはわかっているけど、これだけのものを自分で揃えるとなるとなかなか大変なだけに、「絶対に喜ばれるよね」とうらやむ声も聞こえていました。

オケクラフトと草木染めやガラス、樹皮編みを組み合わせた「作り手コラボレーション」の試作品展示では、草木染めならではの自然な風合いに仕上げたお椀や、ガラスを包み込むような形のコースターなどユニークな作品が紹介され、モノづくりへの新たな可能性を示唆していました。

また、この日からオケクラフトセンター森林工芸館では、新作などを集めた「30thアニバーサリー展示販売会」を開催。一点モノや、普段は目にすることが少ないレアな商品が並び、買い物客の購買意欲を刺激していました。

手作りの良さ広めようー浜さん講演

「地域料理の味見サロン」に続いて、「手作り旅情」と題して浜美枝さんの講演が行われました。「オケクラフトの器で食べる料理はどれも美味しくて今は幸せな気分です」と語り始めた浜さん。テレビ番組の取材などで全国を旅し、そこで出会った人たちの豊かな暮らしぶりなどを紹介しながら、「手仕事のある町は素晴らしい。ぜひ未来ある子どもたちに伝えてほしいです。また、これからも手作りやオケクラフトの良さを全国に向けて発信し続けてください」とエールを送っていました。

最後に実行委員の青島弘明さんが「家の中で眠っているオケクラフトはありませんが。出し惜しみせずどんどん使ってください。それが私たち作り手の一番の願いです」と挨拶し、記念サロンを締めくくりました。



「すくすくギフト」の試作品を紹介



新作一点モノなどのプレミアム品が並ぶ「30thアニバーサリー展示販売会」



「手作りやオケクラフトの良さを全国に向けて発信し続けてほしい」とエールを送った浜さん